枚方市立図書館発行

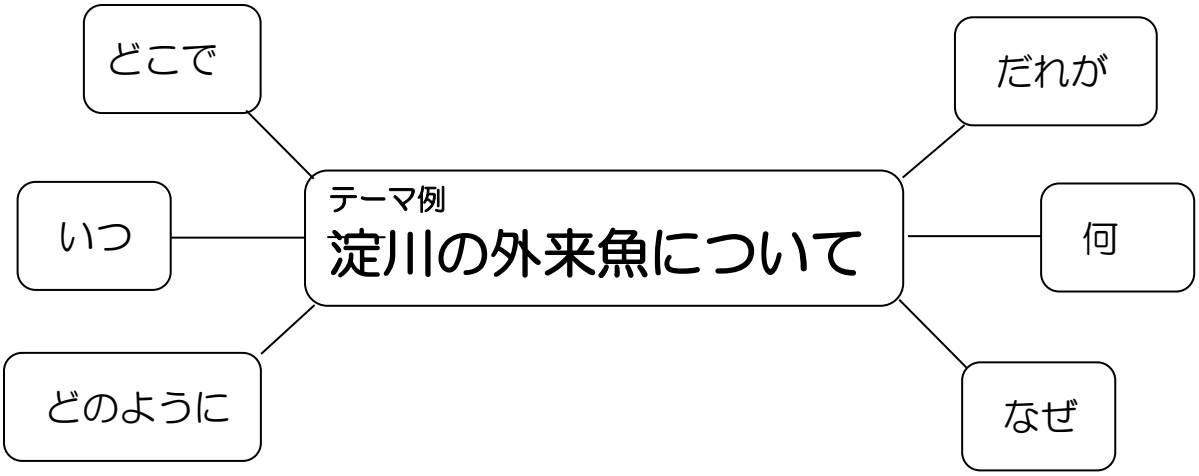
わかるって楽しい！

『調べ学習のコツ！』

～中学生の調べ学習コンクール・ガイド2025 版～

1.調べたいテーマを考えてみよう！

＊　ジャンルから、自分の興味のあること、疑問や気になること、わからないことを思いうかべ、書き出してみよう。思い浮かべたテーマで下のようなイメージマップを作ると、アイデアが浮かびやすくなるよ。

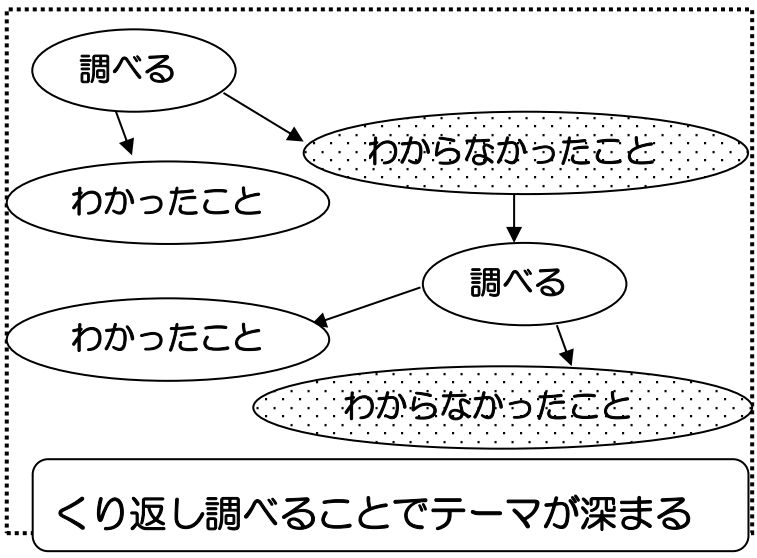


<イメージマップ>

テーマは調べる途中で変わってもいいよ！

＊　調べていくと、最初に考えていたことと違うテーマにたどりつくこともあります。そのときは、テーマを変えてもかまいません。

　調べることで、テーマが深まり、自分だけのテーマが見つかります。



2.調べ方を考えよう！

＜調べ方の方法や注意点＞

調べ方	具体的な方法	気をつけること
新聞や本などを使って調べる	＊学校図書館、公共図書館（近くの枚方市立図書館など）で調べる。 ＊百科事典、図鑑、年鑑、白書、地図、年表、統計など、調べ物に役立つ資料がある。 ＊本の目次や索引（巻末）から見つける。	**＜情報が信頼できるものか確認しよう！＞** ＊本の出版年を見て、情報が古くないかを確認する。（出版年は本の最後（奥付）に載っている。） ＊調べたいこと、そのものズバリの本がなくてもあきらめないで。逆に、１冊の本だけの情報で調べ物を終わらないで、２冊以上の本を調べてみよう。
インターネットで調べる	＊調べたい言葉（キーワード）で検索すると、いろいろな情報が探せる。 ＊複数のキーワードを調べるときは、スペースを空けながら検索欄にキーワードを入力すると検索できる。	**＜情報が信頼できるものか確認しよう！＞** ＊ホームページの発信元・発信時期・更新年月日、アクセス年月日を確認。 （誰がいつ発信しているかをよく見る。） ⇒古い情報のページが残っていることがあるので気をつける。 ＊信頼性が高いホームページを見る ⇒市町村・公共の団体のホームページなど。 ＊２つ以上のホームページを確認したり、本などで調べたりして、比べてみる。
人に聞く取材する	＊まわりの大人（家族、地域の人）や、友だちに聞く。 ＊図書館、博物館、資料館などで専門の人に聞く。 ＊電話・手紙・ファックス、メールなどで尋ねる方法もある。	＊初めに、本やインターネットでできるだけ多くの情報を集めて下調べをして、「どこまでわかったか」 「どこがわからなかったか」をまとめてから聞きに行くとわかりやすい。 ＊質問の内容も伝えて、聞きに行ってもいいか、相手の都合を確かめてから聞きに行こう。
観察する体験する	＊観察したり、実際にやってみたりすることで、わかることもある。	＊自分の目で見たり確かめたりしたことをまとめるので、時間がかかることもある。余裕を持ってしよう。

これ、大事！
複数の情報を調べることで、その情報が正しいものか、確認してみよう。

ひとつのホームページの内容を丸写しするのではなく、それ以外のホームページや図書館の本を調べるなど、複数の情報から考えてみよう。

3.調べたことを記録しよう！

＜記録しておくこと＞ ・・・カードに書いたり、ノートやファイルも利用してみよう。

(1)疑問のきっかけ。　⇒　なぜそのテーマを調べようと思ったのか。

(2)調べる内容。　⇒　疑問を解決するために何を調べていくのか。

(3)何で調べたか。　⇒　本、新聞、ホームページ（インターネット)、人など

(4)調べた内容とその結果わかったこと、考えたこと。

＊写真、新聞の切り抜き、リーフレットなどは整理しよう。

(5)調べたことで浮かんだ疑問や次の課題を記録する。

※記録するときの注意点

① 参考にした資料（本・新聞・雑誌）は、書名・著者名・出版社・出版年月日を記録する。

② インターネットで調べたときは、Web ページ名・Web ページを製作した人・団体名・更新日(閲覧日)・URL（ホームページのアドレス）を記録する。

③ 人から話を聞いたときは、聞き取った日時、人の名前、その人の立場（例：〇〇図書館職員など）を記録する。

④ 人から聞いた（取材）内容は、書いて発表してもいいか確かめておく。

⑤ 観察したり体験したりした場合は、その日時と場所を記録する。

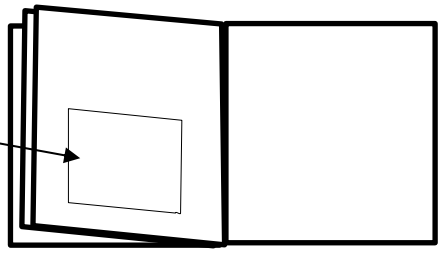
⑥ 人から聞いたことや調べた内容は、自分の意見と区別して記録する。

＜本の奥付（おくづけ）＞

（本の後ろ（巻末））

書名・著者名・出版社・出版年

が書いてあります。



4.調べた記録をまとめて作品にしよう！

（1）調べたことを整理する。

（2）発表する内容にまとめていく。

＊テーマを選んだ理由　⇒　調べようと思ったきっかけを書く。

＊研究計画・方法　⇒　どんな方法で調べたかを書く。

・ 文献検索方法（本・ホームページなど)、取材、アンケート、観察・体験などの計画、方法などを書く。

＊内容　⇒　わかったことの中から、自分の伝えたいことをまとめていく。

・ テーマを解決するために、資料を読む、取材、実験、観察などをしてわかったことを書く。

・ いろいろ調べたことから、どんなことを取り上げて書くのか、その順番を考える。…構成を考える。（目次のようなもの。）

・ 何が問題なのかはっきりさせ、調べてわかったことを具体的に説明する。
・ 時間の流れに沿って並べる。
・ 多くの資料を比較検討する。
・ グラフや図表化して目で見てわかりやすいように書く。
・ 文字は丁寧に正確に書く。

＊まとめ　⇒　テーマを解決するために調べたことについて、自分の考えや思ったこと、工夫したこと、苦労したことなどを書く。

5.重要ポイント　出典を書こう

他の人が書いたり、調べたりしたことを書くときは、「　」でくくって、自分の意見や考えとは別であることをはっきりさせる。

特に、本などの資料からの引用文の時は、書名・著者名・出版社・出版年・引用文の掲載ページを記入する。書き写した本だけではなく、参考にした本も

★本を参考にした場合　⇒　書名・著者名・出版社・出版年を書く。
例.『〇〇〇〇』枚方太郎著　△△社　2021 年

★ホームページ（インターネット）を参考にした場合
⇒ Web ページ名・Web ページを製作した人・団体名・更新日(閲覧日)・URL を書く。
例.『枚方市ホームページ』枚方市
更新年月日 2022 年 7 月 1 日
http://www.city.hirakata.osaka.jp

★新聞を参考にした場合　⇒　新聞紙名・出版年月日を書く。
例.『〇〇新聞』　2022 年 3 月 1 日 夕刊